

13 ミヤコドリガイ

(ユキスズメガイ科)

兵庫県ランク:A

Phenacolepas pulchella

環境省ランク:NT

種の概要

千葉県・新潟県以南に分布し、主に内湾や河口の潮間帯において、泥に半ば埋もれた岩礫の裏面や底床付近に付着する。長径10mm、短径7mmほどの傘形をし、殻表面には多数の放射肋があり、肋上は顆粒状となる。殻色は淡い橙褐色だが、生時は還元鉄などが付着して黒色のことも多い。軟体はヘモグロビン色素を有し、濃赤色である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

高砂市、姫路市、赤穂市、洲本市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。既知産地は少なく、播磨(4箇所)と淡路島(3箇所)の河口干潟や内湾奥部で確認されているにすぎない。見つかるときは1つの石で複数が付着しているが、こういった石が1箇所ですべて見つかることは1~2産地でしかない。

保護上の留意点

河口や内湾環境下にある泥や砂泥干潟の半ば埋もれた転石に生息し、適度に石裏に甲殻類や環形動物などの生痕による酸化部が必要と考えられる。このような微環境を特定し保全するのは困難であるが、既知産地においては現状維持に努め、護岸工事や埋め立てを行わないよう配慮する。



【執筆者】 増田修